会議録　（スローライフてらまち運営推進会議）

第１回

作成日　平成 25 年 5 月 31 日

期　　日	平成 25 年 5 月 23 日（木）	時　　間	午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分
場　　所	グループホームてらまち　翡翠ユニットフロア		
出席者 (9 名)	利用者家族	2 名	
	地域住民代表	1 名	
	糸魚川市職員	1 名	
	地域包括支援センター	1 名	
	施設スタッフ	4 名	
欠席者	地域住民代表		

会議要旨

議題	1. 開会挨拶
	2. 議題 ① 小規模多機能型居宅介護　事業内容報告 ② グループホーム　事業内容報告 ③ ヒヤリハット、事故報告 ④ 意見交換 ⑤ その他
	3. 閉会挨拶

1. 開会挨拶

事務局：4 月よりグループホーム管理者が変わりました。
会社の体制が変わり 6 月よりスローライフてらまちが本社管理となります。
担当は、本社営業課となります。

2. 議題

①小規模多機能型居宅介護　事業内容報告（事務局）

小規模の活動内容としましては、４・５月と天候が良い日には外出を企画しました。４月には花見、５月には早川に藤を見に行きました。

また、5/26 にビーチホールまがたまにてポエムコンサートに参加する計画を立てています。ただ、地域との交流の部分がまだできていないため、今後の課題として考えていかなくてはならないと思います。その為、今後の予定として、スローライフてらまちの中庭を利用して畑作りを計画しています。畑のことについて詳しくないため、地域の方で詳しい方に指導していただき、地域との交流に繋がればと思っています。

②グループホーム　事業内容報告（事務局）

現在の利用状況は 18 名定員満床。平均介護度は 2.8。待機者は 39 名

4/10 に寺町区のけんか祭りの出向式の見学に皆様といって参りました。小規模多機能と合同に 4/12～4/16 に桜のお花見にいって参りました。

また 4/28 に御入居者のお誕生日会を行い職員による出し物（踊り）を披露しました。過ごしやすい季節となりましたのでたくさんの外出を計画しております。

＜まとめ・質問＞

事務局：両部門で活動内容の報告をさせていただきましたが、どうしても内々での活動が多く、地域との活動が出来ていません。その為、今年の目標として地域との活動を行うようにしていこうと思っています。

③ヒヤリハット報告書、事故報告書　報告

＜ファミリアてらまち＞（事務局）

・ヒヤリハット報告

4 月　1 件

5 月　1 件

・事故報告

4 月　9 件

5 月　1 件

4 月　車両事故　1 件

5 月　苦情　　1 件

＜グループホームてらまち＞（事務局）

・ヒヤリハット報告

4月　1件

5月　0件

・事故報告

3月　2件

4月　0件

5月　3件

＊報告内容、原因、対応、改善策を報告。

事務局：3月にグループホームの方で転倒し、骨折してしまうという事故がありました。その事について小規模多機能・グループホーム含めて緊急会議の方をさせていただきました。

④意見交換

出席者：　事故のリスクについて御家族に説明しているのか。内部だけでカンファレンスを行うと施設の介護職員目線になってしまう。外部（第3者）を含めカンファレンスを行うと良い。

アセスメントツールを別のもの（センター方式）を使用してみては？

事務局：　確かにおっしゃる通りで、施設内のみで行うとどうしても介護職員目線で話が進んでしまうこともあるため、今後、検討させて頂きたいと思います。

出席者：　利用してから日が浅いのですが、私が目の届かない所、足の爪が伸びていたため靴下が破けていました。足の爪を切ってほしいと言わなければいけなかったのでしょうか。また、どこまでお話しをしていいものなのでしょうか？

事務局：　申し訳ございません。足の爪については、職員の確認不足で出来ていない事でした。今後は入浴時、確認するように小規模多機能の職員に周知していきます。

また、意見や要望に関してはどんなことでも結構ですので、直接電話したり、連絡ノートに記入していただければ今後の参考にさせていただきますので、気軽に連絡ください。

出席者：　長時間外出に出る場合は水分を持参して下さい。

夜勤は職員何人で見ているのでしょうか。大勢の利用者を少ない職員で見ていると、見守りが不十分になってしまう為、事故がおきてしまう。ヒヤリハットや脱水症状には注意が必要だが、だからといって委縮しないで仕事をしてほしいです。

事務局：　水分を用意し外出しておりますが気温も熱く、日差しも強くなってきてますので十分に注意してまいります。2度と事故のないよう努めます。

出席者：　自分の家族を施設にあずけると助かるが、それは安心、安全があってのこと。事故への対応は全職員がスムーズに行えるよう指導しているのか。

事務局：　今現在職員全員が周知していないのが現状です。今後対応について、会議を開き、全職員が対応できるようにしていきます。

出席者：　勤務体制が変わった経緯は。

事務局：　17 時間勤務をしてしまうことで、集中力が持たないということが、まず第一の要因です。それを準夜勤・深夜勤８時間に分けることで職員の負担を軽減し、ケアの質の向上に努めたいと思っております。負担は減っていると思いますが、勤務体制が変わったことによる負担も出ているので、課題を整理したいと思います。

出席者：　グループホームの夜勤は職員何人なのでしょうか。
　また、災害時は人が足りるのでしょうか。

事務局：　夜勤は１ユニット１人で対応しております。正直夜間２名は厳しい状況です。

事務局：　夜間での職員の人数が少ないということで今後は夜間を想定した避難訓練を行っていかなくてはならないと思います。

3. 閉会挨拶

事務局：　毎回毎回運営推進会議で事故の報告をさせていただいておりますが、事故について検討をさせていただいておりますので、同じ事故を繰り返さないようにしています。
　活動面に関しては、会社の状況としてもギリギリの配置人数で業務を行っているため、行事に関して合同で行う事も多くありますが、今後は地域との活動も組み入れていこうと思っています。

　次回運営推進会議開催予定　Ｈ２５年７月下旬とする。